

## ● 労作性狭心症

通常は心筋の酸素需要を満たすのに十分な血流が冠動脈によって供給されています。運動時には血圧・脈拍が上昇して心筋の酸素需要が増大しますが、冠動脈が狭窄してしまった場合、この需要を満たすのに十分な血流を供給することができないため、需要供給のミスマッチ(心筋虚血と呼びます)が生じ、狭心症の症状が生じます。薬物療法によって血圧や脈拍をコントロールしたり、狭窄した冠動脈の治療を行ったりすることで症状が改善します。

